

Panasonic

7ワイドインダッシュ
TV/CD プレーヤー

取扱説明書

品番

CY-TVC7000D



CAR AUDIO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

フル電動メカ搭載の 7 型ワイドインダッシュ TV を CD プレーヤーと一体化

7 型ワイド液晶カラーディスプレイ搭載の TV/CD プレーヤー

ボタンを押すだけで立ち上げまでフル電動。左右の角度調整も可能(手動)

ワンタッチ可倒機能を装備(11 ページ)

TILT(チルト)ボタンを押すだけで素早くモニターが前方(約 20° の角度)へ倒れるため、本機を使用中でも、モニターの裏側にあるエアコンなどを操作しやすい

オートディマー(自動調光機能)内蔵(26 ページ)

周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整

FM トランスミッター内蔵(16、24 ページ)

ステレオタイプのトランスミッター(送信機)を内蔵。配線の手間なく、テレビや CD などの音声を電波で送信して、純正の車載 FM ラジオで聴くことができる

カーナビゲーションシステム対応(16、22、42 ページ)

別売のカーナビゲーション(CN-DV3020D 等)を RGB 信号で接続。細かい地図画面が明瞭に見える

ナビゲーションの音声案内に適した、小型スピーカーを付属

ナビゲーション付属のリモコンで、本機を操作できる(9 ページ)

外部拡張端子付き(40 ~ 46 ページ)

ビデオ入力端子 2 系統 チューナーユニット

ビデオ出力タイプのカーナビゲーション、車載用ビデオ、ビデオカメラ、車載用カメラが接続できる

ビデオ出力端子 1 系統 チューナーユニット

後部座席にもう 1 台のモニターが接続できる

(前席でナビゲーションの地図画面、後席でテレビやビデオを見ることができる)

プリアウト(外部出力)コード 1 系統 ディスプレイユニット

MD レシーバー(CQ-MR5000D)などの 1DIN オーディオと組み合わせられる

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全上のご注意	4
付属品の確認と準備	7
各部のなまえとはたらき	8
ナビゲーション付属リモコンで本機を操作する場合	9

使う

電源を入れる(基本操作)	10
モニターの開閉 電源 ON/OFF 音量調整 消音(ミュート) モード切り替え	
モニターの上下角度(TILT)・位置調整 / 左右の角度調整 / 一時的に前へ倒す	
テレビを見る	12
CD を聴く	14

使いこなす

組み合わせる/便利な機能	16
カーナビゲーション 車載の FM ラジオ 車載用ビデオ、ビデオカメラ	
2 台目のモニター 2 台目のモニターへ出力するソースを設定する(リアモニター設定)	
車載用カメラ 映像の横縦比(アスペクト)を変える	
いろいろな設定と調整	22
ユーザー設定	22
画面調整	26

必要なときに

ディスクの取り扱いについて	28
お手入れのしかた	29
故障かな!?	30
取り付け・配線の前に	34
取り付けかた	36
テレビアンテナを取り付ける	38
配線のしかた	40
仕様	47
アフターサービスについて	裏表紙

別売の AV マスターユニット(CA-TU7000D)と組み合わせると、更にシステムを
発展させることができます。

組み合わせたときの「操作のしかた」「配線のしかた」などは、接続した機器の取扱説明書
をご覧ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

運転や視界の妨げになる位置に
取り付けない



禁止

前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安
部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

注意

取り付け・配線は、専門技術者に
依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に
依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線作業中はバッテリーの ⊖ 端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V ⊖ アース車で使用する



本機は DC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など (DC24V 車) には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+と-の向き)を確かめて、指示どおり正しく入れる。
指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池と一緒に使用しない。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きつけたりビニール袋などに入れて絶縁する。
充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

走行中は、テレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
2台目のモニターには、映像が表示されます。



1) 使用前に

使用上のお願い

低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。
また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度：0 ~ 40)

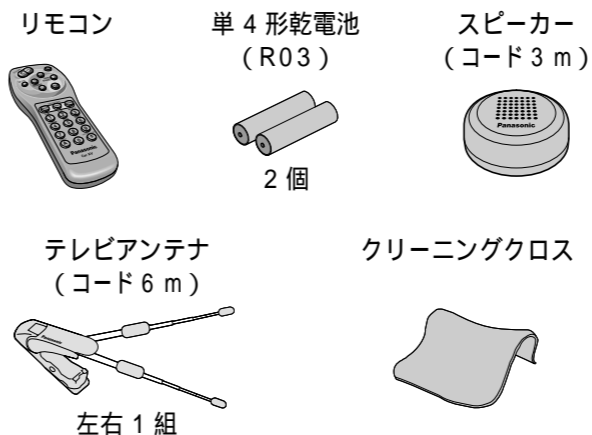
液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。
特殊加工されているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。
位置や向きを調整し、本機から離してください。

付属品の確認と準備

主な付属品

配線・取り付け用の部品は、34ページをご覧ください。

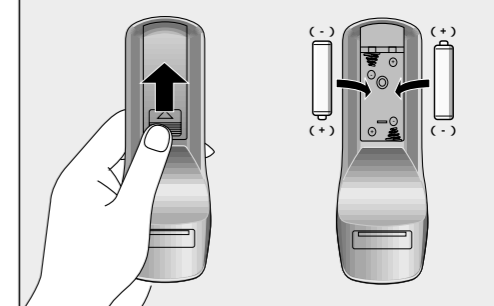


添付品

取扱説明書 保証書 お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

- 1 押しながらふたを開ける
- 2 電池を入れてふたを閉める



使用する電池

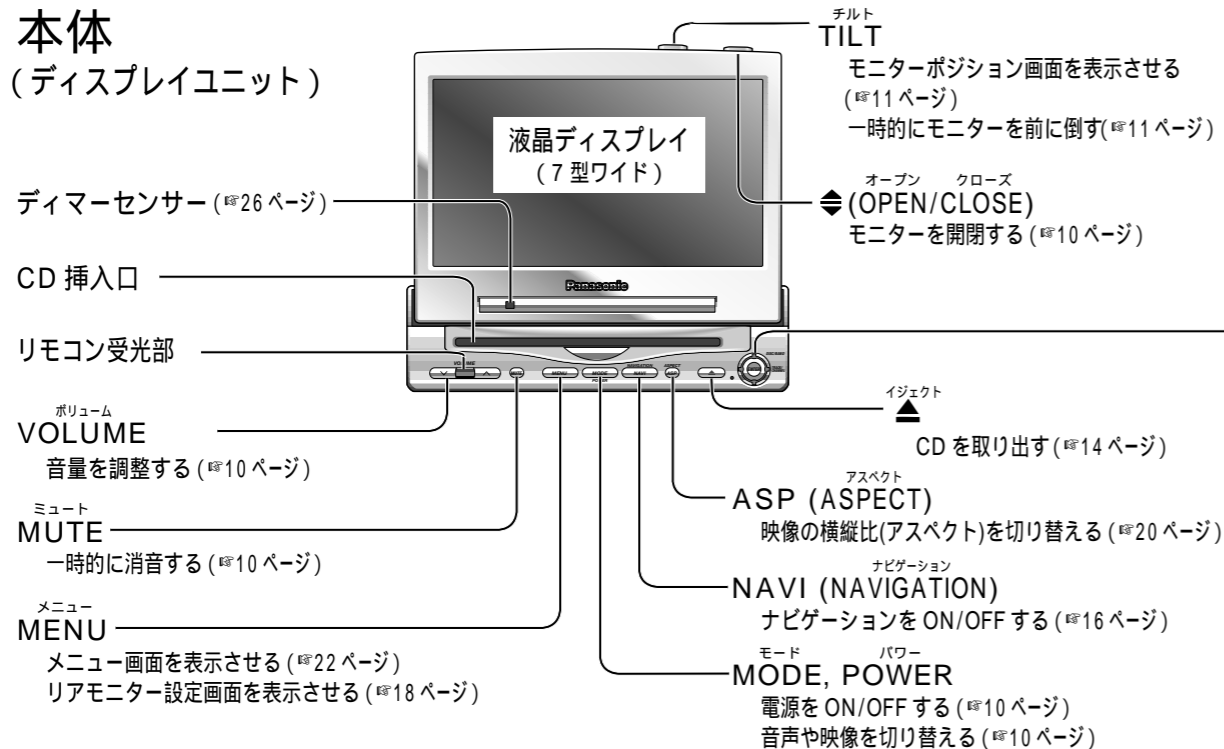
使用電池：単4形乾電池 (R03) 2個
電池寿命：通常の使用状態で約5ヶ月
(マンガン乾電池 / 常温時)

お願い

アルカリ乾電池は使用しないでください。

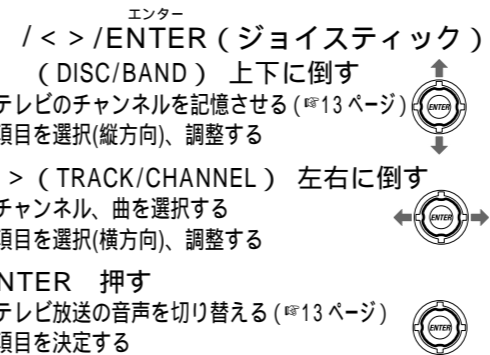
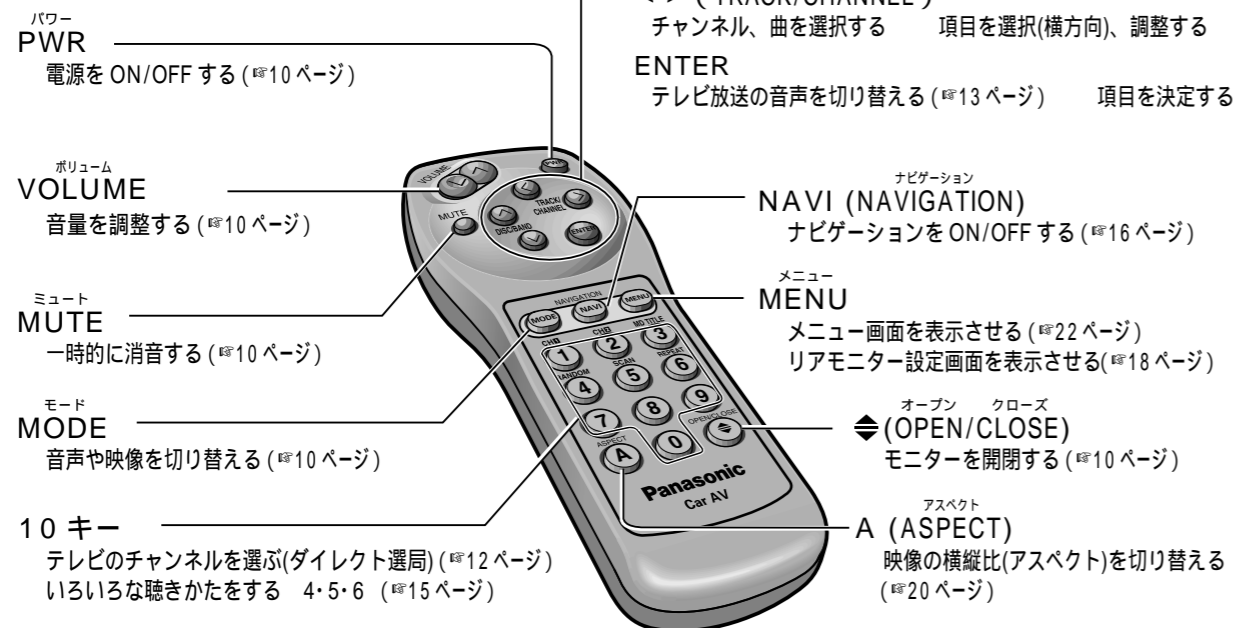
各部のなまえとはたらき

本体 (ディスプレイユニット)



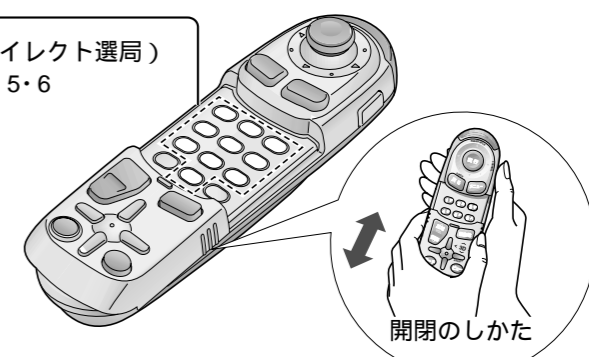
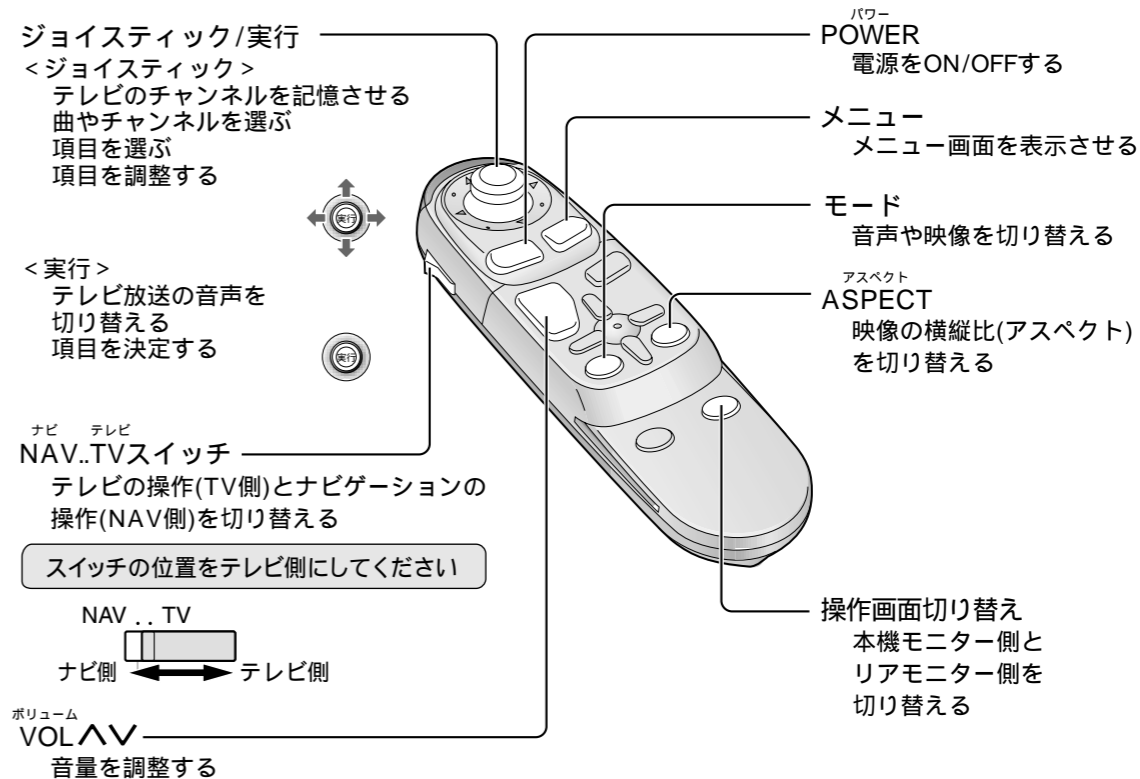
リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

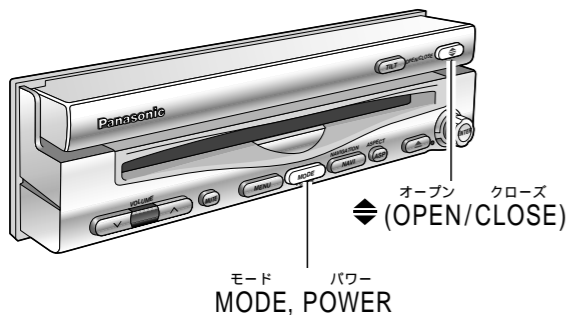


ディスプレイユニット後面、およびチューナーユニットについては、配線のしかたをご覧ください (※40～41ページ)

ナビゲーション付属リモコンでも、本機を操作できます

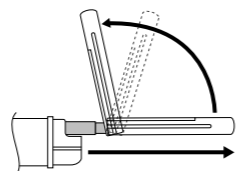


電源を入れる (基本操作)



モニターを開閉する

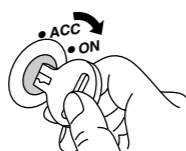
OPEN : ◇ (OPEN/CLOSE) を押す
モニターが立ち上がります。



途中で止まったときは...
◇ (OPEN/CLOSE) を押して
モニターを収納し、もう一度
立ち上げ直してください。

CLOSE : モニターの左右の角度を手で中央に戻して、
再度 ◇ (OPEN/CLOSE) を押す

準備 車のエンジンをかける
(「ACC」の位置でも可)



電源を入れる/切る

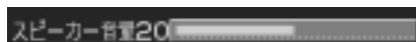
ON : PWR または MODE を押す
(本体は MODE を押す)

OFF : 再度 PWR を押す
または MODE を 2 秒以上押す
(本体は MODE を 2 秒以上押す)

付属スピーカーの 音量を調整する

VOL を押す

モードごとに記憶されるので、モード
を切り替えると音量も変わります。
(インテリジェントボリューム)



設定範囲: 0 ~ 40

一時的に消音する

(ミュート)

MUTE を押す

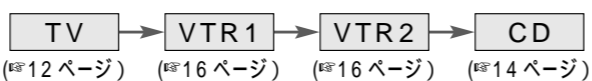
(再度押すと、解除)



点滅する

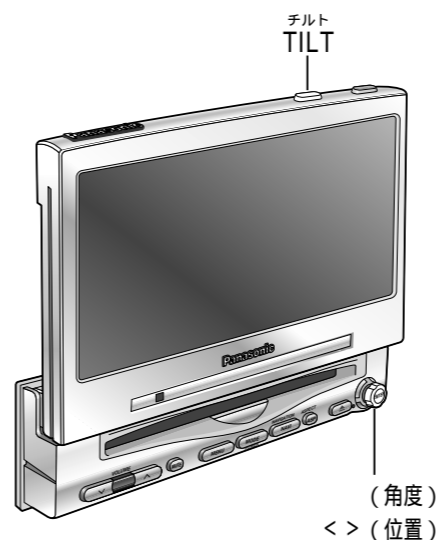
モードを切り替える

MODE を押す



モニターの角度や位置を調整するには

上下の角度・前後の位置は、モニターの左右の角度を中央に戻してから調整してください。

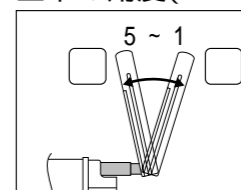


1 本体の TILT を 1 秒以上押し、

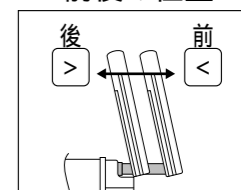


2 □ □ < > で調整する

上下の角度(TILT)



前後の位置



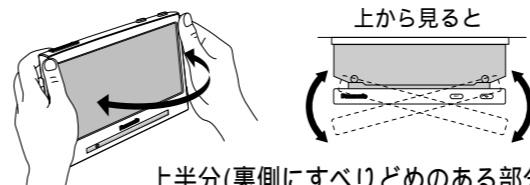
お知らせ

終了するには... MODE を押す
約 60 秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります
次回電源を入れたとき、前回調整した角度で
開きます。
より映像を見やすくするには、画面の「明るさ」
も調整してください。(※26 ページ)
メニュー画面からも調整できます。(※22 ページ)

モニターを無理に動かさないでください
以下のような操作を手で行うと、故障の原因
になります。

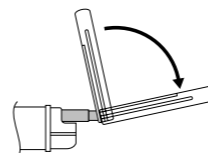
モニターを上下に倒す (角度調整)
モニターを前後に動かす

左右の角度を調整するには



上半分(裏側にすべりどめのある部分)
を持って、ゆっくり動かす
指をはさまないように、気を付けてください。

一時的にモニターを前へ倒すには
電源が切れていても可



本体の TILT を押す
(再度押すと、もどに戻る)

お願い

モニターの動きを妨げないでください。
モニターに強い衝撃を与えないでください。
(荷物の出し入れなどに、気を付けてください。)

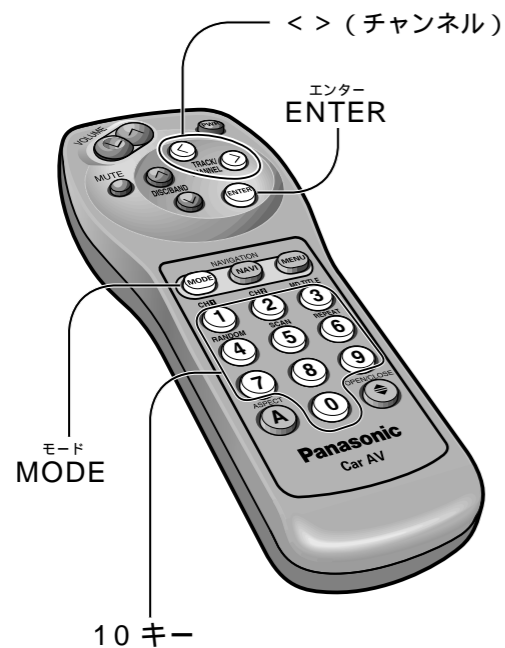
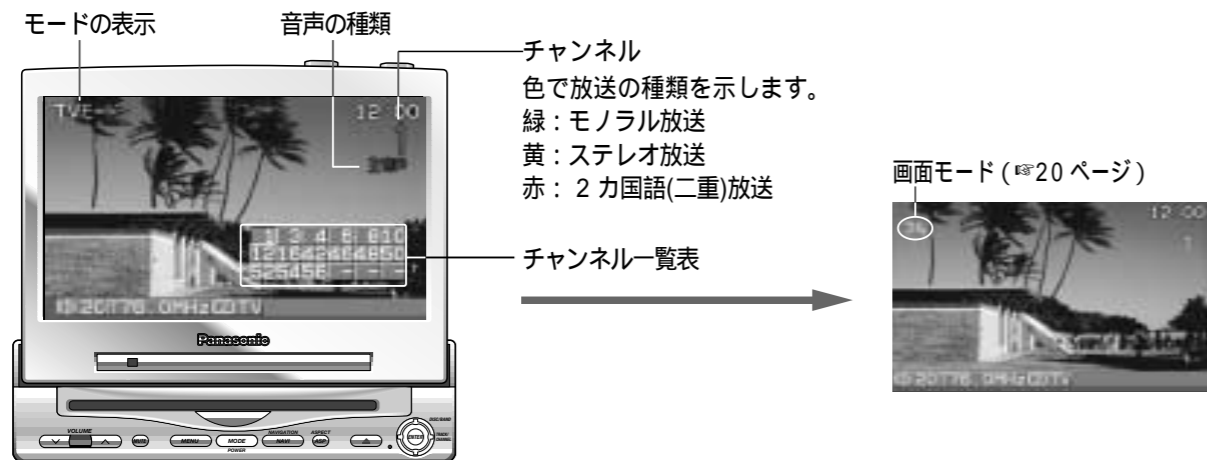
注意

可動部に手・指を入れない
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止 可動部に手・指、挿入口に異物
を入れると、けがや故障の原因
になります。
特に乳幼児にご注意ください。

テレビを見る



1 **MODE** を押して、**TVモード**にする

2 **<>** を押して、**チャンネルを選ぶ**

自動選局(シーク)するには...

<> を 0.5 秒以上押す
受信すると、止まります。

数字の入力も可(ダイレクト選局)
リモコンの「10キー」を押す

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



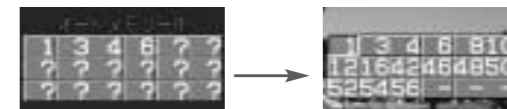
前方不注意による交通事故の原因
になります。安全な場所に停車し、
操作してください。

受信中のチャンネルなどを確かめるには
ENTER を押して、表示させる

チャンネルを記憶させるには(オートメモリー)

チャンネルを自動で探し、最大18局まで記憶させることができます。

BAND
<> を 2 秒以上押す
: 1ch からサーチする
: 62ch からサーチする
チャンネル番号順に記憶されます。



チャンネルを呼び出すには...

BAND
<> を押して、選ぶ

(オートメモリー)

お知らせ

記憶されたチャンネルは、操作をするたびに更新されます。
電波状況により、画質が悪いチャンネルを受信することもあります。
受信できるチャンネルが見つからないときは、1周してもとのチャンネルに戻ります。



使いかた

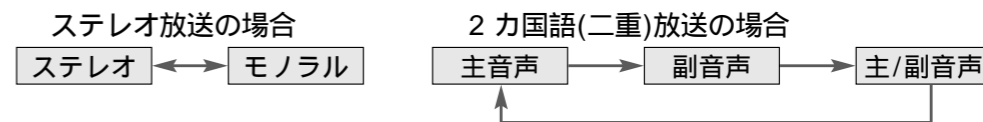
テレビ放送の音声を切り替えるには

1 **ENTER** を押す

2 チャンネルの表示中(約4秒間)に
再度 **ENTER** を押して切り替える

お知らせ

モノラル放送の場合は、
音声の種類が表示されません。



画面表示について

現在の出力状態が表示されます。



モードの表示
映像・音声あり... (TV, VTR1, VTR2)
ナビゲーションがONのときは
音声のみになります。
音声のみ... (CD)

音量(※10ページ)
FMトランスミッターがON
のとき(※16, 24ページ)

ナビゲーションがON
のとき(※16ページ)

CD を聴く



CDを入れる前に、すでにディスクが入っていないか確認してください。

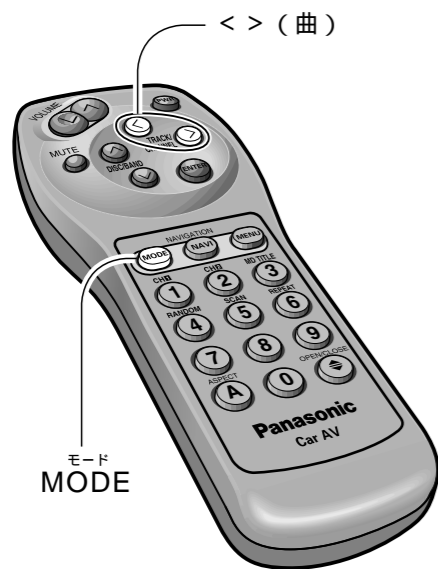
1 MODE を押して、CDモードにする

“NO DISC”と表示されたときは...
ディスクを入れてください

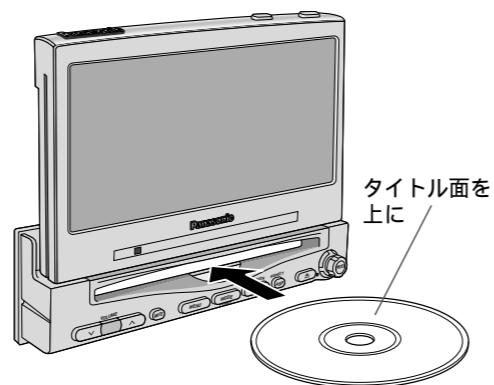
2 TRACK < > を押して、曲を選ぶ

早送り/早戻しするには...

TRACK < > を 0.5 秒以上押し続ける
押し続けている間、送り/戻しされます。



CDを入れるには



CDを取り出すには

本体の ▲ を押す

お知らせ

電源が切れているときに CD を入れると、電源が入ります。
モニターを閉じた状態でも、再生できます。
CD をくわえたままにしておくと、自動的に引き込みます。

いろいろな聴きかた リモコンで操作してください

順不同に聴く
(ランダム)

RANDOM
4 を押す
(再度押すと、解除)

RANDOM

曲を探す
(スキャン)

SCAN
5 を押す
(再度押すと、解除)

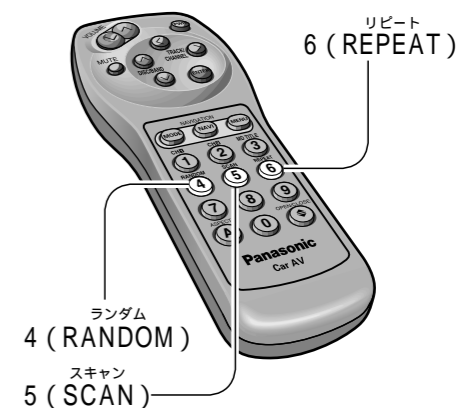
SCAN

一周すると...
もとの曲の始めに戻る

繰り返し聴く
(リピート)

REPEAT
6 を押す
(再度押すと、解除)

REPEAT



使いかた

⚠ 注意

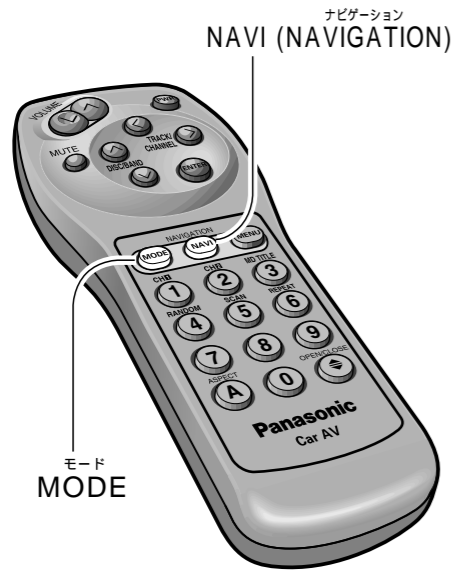
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

組み合わせる / 便利な機能



カーナビゲーションと 組み合わせた場合 (ナビゲーションモードにする)

準備 カーナビゲーションを接続する。(P.42 ページ)
「ナビゲーション設定(ナビゲーション入力)」を確認する。(P.22 ページ)

下記のカーナビゲーションの場合は「モニター選択」で標準を選んでください。
(P.カーナビゲーション取扱説明書)
CN-DV2000D、DV2000/2020TD、DV2500D、DV2520ID、DV3020D

テレビや CD の音声を FM ラジオで聴く場合 (FM トランスミッター)

本機の音声を車載の FM ラジオで受信して、聴くことができます。

準備 FM トランスミッター用アンテナコードが伸びているか、確認する。(P.40 ページ)

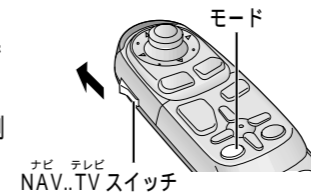
車載用ビデオや ビデオカメラと 組み合わせた場合

準備 車載用ビデオやビデオカメラを接続する。(P.46 ページ)

NAVIGATION

NAVI を押して、
ナビゲーションを「ON」にする
(再度押すと、解除：ナビゲーション「OFF」)
ナビゲーションの音声は、付属スピーカーから出力されます。

ナビゲーション付属リモコンで
操作する場合は
NAV..TV スイッチを「NAV」側
にして、**モード** を押す。



ナビゲーションの音声案内と共に、他のモードの音声を聴くことができます。

FM トランスミッターで聴いてください。(P.下記項目)
ナビゲーションがビデオ接続 (VTR1/VTR2) の場合には
VTR モード (VTR1/VTR2)、および TV モードに切り替えたときも、
ナビゲーションの音声は FM トランスミッターから出力されます。

お知らせ

ビデオ接続 (VTR1/VTR2) の場合は、接続した端子と同じモードに切り替えたときも、ナビゲーションモードになります。

DVD ビデオプレーヤー内蔵のナビゲーションを接続した場合には、DVD ビデオを再生できます。(P.43 ページ)

ナビゲーションが「ON」のとき



現在のモード
FM トランスミッターやプリアウトへ出力される音声

- 1 FM トランスミッターを設定する (P.24 ページ)
- 2 FM ラジオの周波数を FM トランスミッターの設定と一致させて、本機の音声を受信する
- 3 **MODE** を押して、FM トランスミッターに送信する音声を切り替える

音量は、FM ラジオで調整してください。

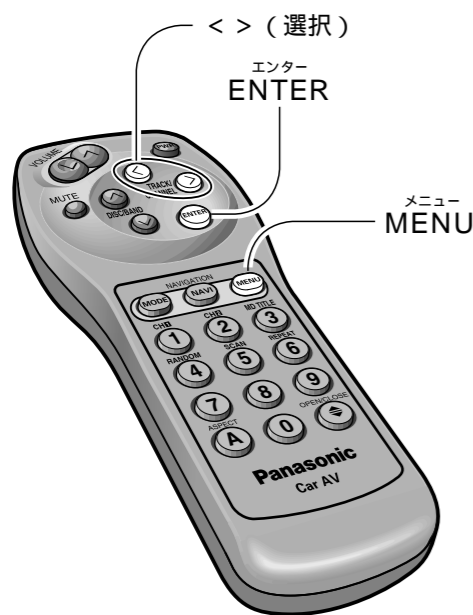
お知らせ

RGB 接続のナビゲーションの音声は、FM トランスミッターに出力されません。

MD レシーバー (CQ-MR5000D) などの 1DIN オーディオを組み合わせた場合には
接続したオーディオで、外部機器モードに切り替える。例) MR5000 は「AUX IN」
(FM トランスミッターを使用する必要はありません。)

MODE を押して、
VTR モード (「VTR1」または「VTR2」) に切り替える
機器を接続した端子と同じモードを選んでください。

組み合わせる / 便利な機能



2 台目のモニターを 組み合わせた場合

準備 もう 1 台モニターを接続する。
 (P.46 ページ)

2 台目のモニターへ 出力するソースを設定する (リアモニター設定)

初期設定：自動

2 台目のモニター (リアモニター) の設定をしてください。
 (P.46 下記参照)

前席 (本機) と後席 (リア) のそれぞれのモニターで、異なるモードの映像・音声を出力させることもできます。

1 MENU を 2 秒以上押す



リアモニター設定画面

2 < > を押して、項目を選択する

- 自動** : 本機と同じモードの映像・音声が出力される
- TV** : 常にテレビの映像・音声が表示される
- VTR1** : 常にビデオ入力 1 の映像・音声が表示される
- VTR2** : 常にビデオ入力 2 の映像・音声が表示される

3 ENTER を押して、決定する

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
 約 60 秒間何も操作しないと...
 もとの画面に戻ります
 RGB 接続のナビゲーションの映像・音声が、
 リアモニターへ出力されません。
 CD モードの音声が、リアモニターへ出力
 されません。

リアモニターのテレビを操作するには

- ① **MENU** を 2 秒以上押して、リアモニター設定画面を表示させる
- ② リアモニター設定画面が表示されている間に、再度 **MENU** を押す
- ③ チャンネルが表示されている間 (約 4 秒間) に、テレビを操作する
 (テレビの操作 P.12 ~ 13 ページ)

ナビゲーション付属リモコンで操作する場合は

NAV..TV スイッチを「TV」側にして、**操作画面
切り替え** を押す。
 押すごとにモードが切り替わります。

本機モニター側のモード ↔ **リアモニター側のモード**
 チャンネルが表示されている間 (約 4 秒間) に、操作してください。



組み合わせる / 便利な機能



アスペクト
A (ASPECT)

車載用カメラと 組み合わせた場合

準備

車載用カメラ、リバーコードを接続する。(P45 ページ)
「カメラ入力」の設定を確認する。(P22 ページ)

映像の横縦比を変える (アスペクト)

初期設定：ノーマル
モード数：4 種類

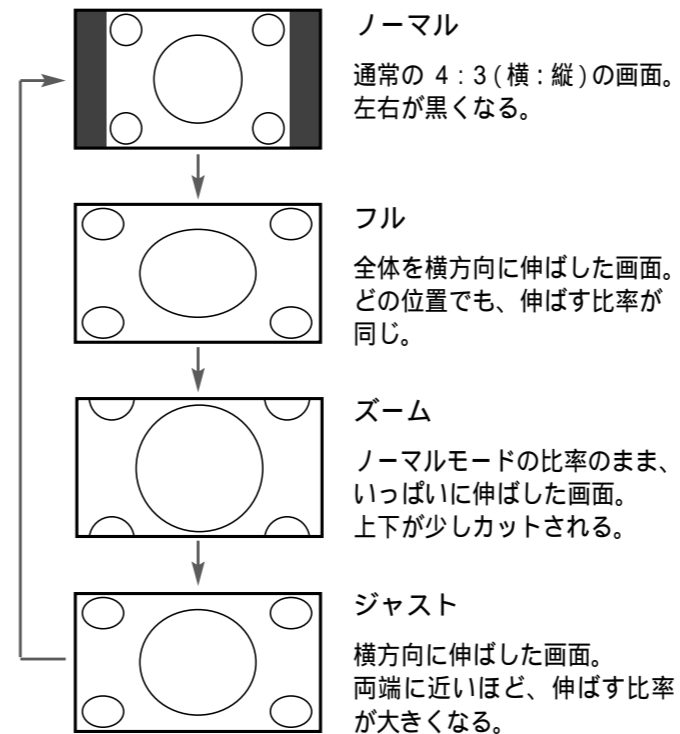
車のシフトレバーを
バック「R (リバース)」に入れる
カメラが「ON」になります。

お知らせ

モニターが電源が OFF のときも、表示されます。

接続した端子 (VTR1/VTR2) と同じモードに切り替えたときも、表示されます。

ASPECT
A を押して、画面モードを切り替える
(本体は ASP を押す)



お知らせ

TV モードと VTR1/VTR2 モードは、
同じ設定になります。

音声のみのモード (CD など) やメニュー
画面などは切り替えられません。フル
で固定されます。

ナビゲーションの映像は、ズーム・ジャ
ストには切り替わりません。

車載用カメラの映像は、フルで固定され
ます。

選びかたによっては、オリジナル映像
と異なって見える場合があります。

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、
著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドでない通常 (4 : 3) の映像をジャスト・ズーム・シネマ・フルなどで画面いっぱいに拡
大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオ
リジナル映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

使いかた

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



① < > と □ □ で項目を選択し
② ENTER を押す

3 設定する



① < > と □ □ で選択・調整し
② ENTER を押す

お知らせ

終了するには... MODE を押す
調整画面で、約 60 秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

ユーザー設定

**モニターの
角度(TILT)や位置を調整する**
初期設定：角度.....3 / 位置.....前
調整範囲：角度.....1 ~ 5 (5 段階)
位置.....前・後 (2 段階)

モニターポジション
を選び

詳しくは、11 ページをご覧ください。

上下の角度 (TILT) : 小 ~ 大
前後の位置 : 前 後

モニターの左右の角度を、手で中央に戻してから調整してください。
“角度の「5」”と“「後」の位置”は組み合わせられません。

**ナビゲーションとの接続
について設定する**

初期設定：ナビゲーション入力...RGB
スピーカー設定.....自動

スピーカー設定はナビゲーション入力
が「RGB」のときのみ、設定できます。

ユーザー設定
から

ナビゲーション設定
を選び

ナビゲーション入力

RGB : RGB 入力端子に接続、または未接続の場合
VTR1 : ビデオ入力端子 1 に接続した場合
VTR2 : ビデオ入力端子 2 に接続した場合

スピーカー設定 (付属スピーカーの出力)

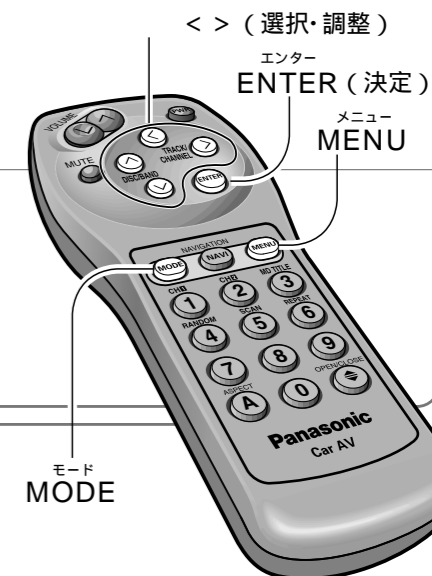
OFF : 音声を出力しない
自動 : 映像と同じモードの音声を出力する
カーナビ固定 : 常にナビゲーションの音声を出力する

**車載用カメラとの接続
について設定する**

初期設定：OFF

カメラ入力
を選び

OFF : 未接続の場合
VTR1 : ビデオ入力端子 1 に接続した場合
VTR2 : ビデオ入力端子 2 に接続した場合



使いかた

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



① < > と □ □ で項目を選択し
② ENTER を押す

3 設定する



① < > と □ □ で選択・調整し
② ENTER を押す

お知らせ

終了するには... MODE を押す
調整画面で、約 60 秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

時計を調整する
初期設定：表示「OFF」

その他の設定
ボタンを押したときの音(操作音)のあり/なしを選ぶ(ピープ音設定)
DVD ビデオプレーヤー内蔵カーナビゲーションシステムとの接続について設定する(ビデオコントロール設定)
初期設定：BEEPON
VIDEO-CONT ...VTR1

FM ラジオへ送信する周波数を調整する
初期設定：ON / 76.0 MHz
調整範囲：76.0 MHz ~ 78.4 MHz (0.1 MHz ごと)

ユーザー設定から

時計設定
を選び

その他の設定
を選び

FM トランスミッタ
を選び

表示選択
OFF : 時計を表示しない
ON : 時計を表示する(未調整のときは、0:00 の点滅)

時刻調整
時/分を調整する(24 時間表示)
< > (選択・調整)

リセット
秒の単位を 0 秒にする(リセット)
時計表示が 1 回点滅し、時計が動き始めます。
エンター ENTER (決定)

BEEP 設定
OFF : 操作音なし
ON : 操作音あり

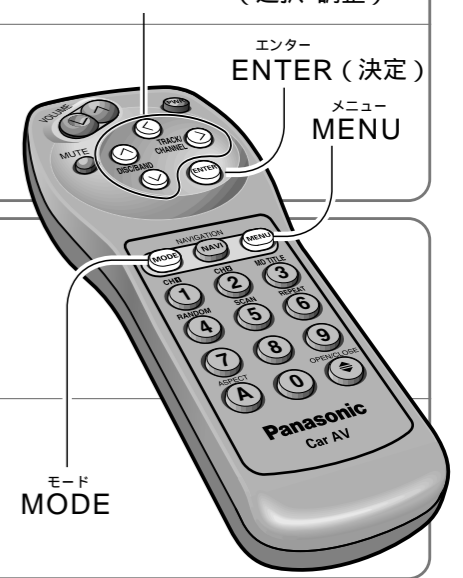
VIDEO-CONT 設定
VTR1 : ビデオ入力端子 1 に接続した場合
VTR2 : ビデオ入力端子 2 に接続した場合

FM トランスミッタ選択
OFF : 本機の音声を FM ラジオへ送信しない
ON : 本機の音声を FM ラジオへ送信する

周波数
周波数を調整する

メニュー MENU

モード MODE



いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① < > と □ □ で項目を選択し
- ② ENTER を押す

3 設定する



- ① < > と □ □ で選択・調整し
- ② ENTER を押す

お知らせ

終了するには... MODE を押す
調整画面で、約 60 秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

画面調整

バックライトの明るさを設定する

初期設定：自動

めりはり(白黒の差)を調整する

初期設定：± 0
調整範囲：- 15 ~ + 15

画像の明るさを調整する

初期設定：± 0
調整範囲：- 15 ~ + 15

色の濃淡を調整する

初期設定：± 0
調整範囲：- 15 ~ + 15

肌色をきれいに調整する

初期設定：± 0
調整範囲：- 15 ~ + 15

画面調整から

ディマー設定
を選び

コントラスト
を選び

明るさ
を選び

色の濃さ
を選び

色あい
を選び

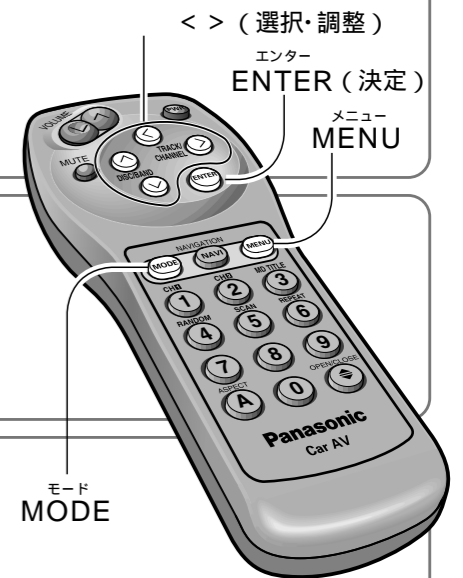
自動：周囲の明るさに合わせて自動調光される
1 2 3 4：暗くなる(1) ~ 明るくなる(4)

「+」：白黒の差がはっきりする
「-」：白黒の差が小さくなる

「+」：明るくなる
「-」：暗くなる

「+」：濃くなる
「-」：薄くなる

「+」：緑色が濃くなる
「-」：赤色が濃くなる



使いかた

ディスクの取り扱いについて

お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)

使用できる CD



のマークが入っているものをご使用ください。

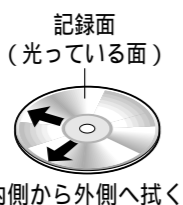
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭きます。



記録面 (光っている面)
内側から外側へ拭く

⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状の CD や、プロテクトフィルムやスタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- 紙やシールを貼らない
- 本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

CD-R ディスクのご使用について

再生可能な CD-R ディスクは、音楽が録音された CD-R に限ります。

CD レコーダーで記録した CD-R ディスクは、その特性・キズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。

ファイナライズ処理されていない CD-R ディスクは再生できません。

CD-RW (リライタブル) ディスクは再生できません。CD-R ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上のご注意を必ずお守りください。

MP3 ファイル、ビデオ CD、CD-ROM、CD-EX ディスクなどは再生できません。

市販のラベルプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクは使用しないでください。

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布 (付属のクリーニングクロスなど) で、から拭きしてください。

画面をツメで引っかかないでください。キズが付くと映像が見づらくなります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

故障かな!?

症状	チェック項目・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。 ヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	10 40 ~ 46 32
音声のみで、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキコードの接続をお確かめください。 サイドブレーキを引いて、ご使用ください。	44 7
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 スピーカー設定が「OFF」になっていないか、お確かめください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。	10 10 22 -
FM トランスミッターの音が出ない、音が小さい、雑音が出る	FM トランスミッター選択を「ON」にしてください。 FM ラジオの周波数と、本機の周波数を一致させてください。 FM トランスミッター用アンテナコードの引き回しを調整し、 受信状態がよくなるようにコードを伸ばしてください。	24 24, 16 40
雑音が出る 映像の映りが悪くなる	携帯電話を本機から離してください。	-
モニター		
モニターの上下の角度や前後の位置が調整できない	障害物にあたらな位置でご使用ください。	11, 35
モニターが収納できない	モニターの左右の角度を中央に戻してください。	10, 11
テレビ		
雑音のみで映像が不鮮明	放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。 テレビアンテナの接続や取り付けをご確認ください。	12 ~ 13 38 ~ 43
CD		
ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される	ディスクを正しい面と向きで入れてください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 音楽用(録音されている)ディスクをご使用ください。	14 28 28
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ 角度を 30° 以内に調整し、しっかり取り付けてください。	28 36

症状	原因と処置	ページ
ナビゲーション・車載用ビデオ・ビデオカメラ・車載用カメラ・リアモニター		
ナビゲーションの映像が出ない	ナビゲーションの接続をお確かめください。 ナビゲーション入力の設定をお確かめください。	42 22
車載用ビデオやビデオカメラの映像が出ない	車載用ビデオやビデオカメラの接続をお確かめください。	46
車載用カメラの映像が出ない	車載用カメラの接続をお確かめください。 カメラ入力の設定をお確かめください。	45 22
2台目のモニターの映像が切り替わらない	リアモニター設定が「自動」以外になっていないか、 お確かめください。	18
画面・音質調整		
画面の明るさが一定でない	ディマーの設定が「自動」になっている。 故障ではありません。設定を「1 ~ 4」にすると、 周囲の明るさに影響されなくなります。	26
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	画面調整の各項目を調整してください。	26
リモコン		
ボタンを押しても動作しない	電池の極性(+)(-)をお確かめください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	7 7 8
ナビゲーション付属リモコンでテレビを操作できない	NAV..TV スイッチの位置を「TV」側にしてください。	9

故障かな!?

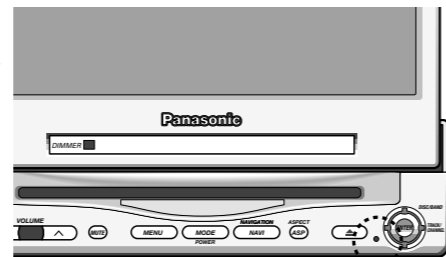
こんなときは、故障ではありません。

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる (雑音が出る)	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする (雑音が出る)	山や木立のかげになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る、色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。
赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、スイッチを押してください。
回復後、電源が切れます。
記憶した内容や設定は解除されますので、もう一度、設定・調整し直してください。

リセットしても正常に戻らない場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」
(別紙)に修理をご依頼ください。



リセットスイッチ

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

こんな表示が出たときは

表示例	原因	確認・処置
E 1	ディスクが汚れている、裏返しになっている。 挿入したディスクがデータ用、または録音されていない。	イジェクトしてください。 (表示されずに、ディスクが自動的に排出される場合もあります。)
E 2	ディスクにキズがついている。	E1、E2 エラーのときはディスクをお確かめください。 イジェクトボタンを押しても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
E 3	何らかの原因で動作しない。	
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。

取り付け・配線の前に

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火・感電・故障の原因になります。

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

ディスプレイユニット関係

品名	個数
電源コード	1
ユニット接続ハーネス(コード 3 m)	1
リバース延長コード(紫/白 6 m)	1
圧着式コネクタ	1
座付きタップタイトねじ(5 × 6 mm)	2
皿型タップタイトねじ(5 × 6 mm)	4
座付きねじ(M 4 × 3 mm)	4
スペーサー	2
両面テープ	2

チューナーユニット関係

品名	個数
マジックテープ(16 mm × 97 mm)	2

テレビアンテナ関係

品名	個数
アンテナベース(アンテナ本体に装着)	2
クリーナーセット[クリーナー液、ウエス(布)]	一式
コードカバー	4
コードクランパー	6

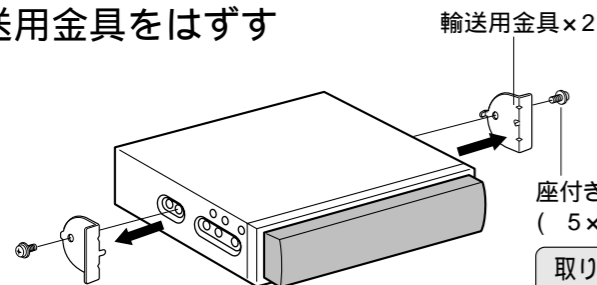
スピーカー関係

品名	個数
コードクランパー	2
両面テープ(41)	1

お願い 必ず付属ねじをご使用ください。

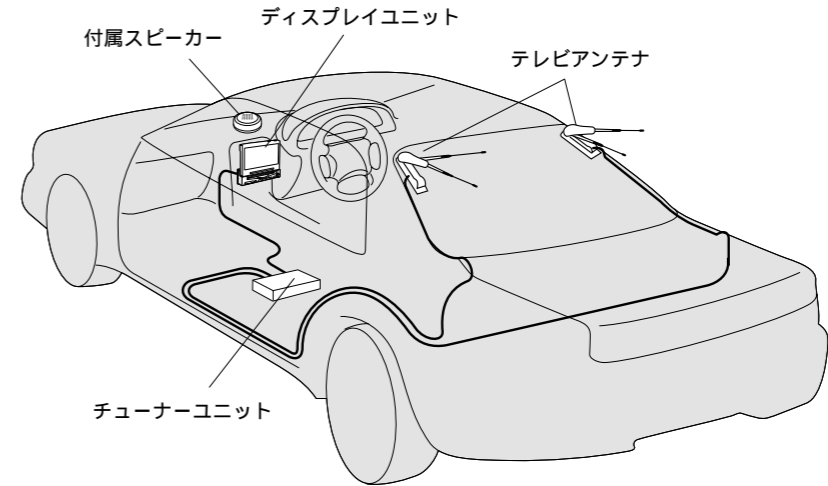
取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

輸送用金具をはずす



座付きタップタイトねじ(5 × 6 mm) X 2

取りはずした 2 本のねじは、ディスプレイユニットの実取り付けに使用します。(※36 ページ)



ディスプレイユニット (※36 ページ)

ダッシュボードの形状や取り付け部の寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

オーディオスペースが DIN サイズ(横 180 mm、縦 50 mm)でない場合は、販売店にご相談ください。

チューナーユニット (※37 ページ)

車両のカーペットの上(助手席の下など)に貼り付けてください。

次のような場所に取り付けしないでください

直射日光のあたるところ(ダッシュボードやリヤートレイの上など)

暖房の熱が直接あたるところ(ヒーターの吹き出し口の近くなど)

雨水がかかりやすいところ(ドア付近など)

お知らせ

カーペットの種類によっては、取り付けられない場合があります。

付属スピーカー (※37 ページ)

ダッシュボードの上などに貼り付けてください。

エアバック装着車に取り付ける場合はエアバック作動時の妨げになる位置(カバー部など)に取り付けしないでください。

テレビアンテナ (※38 ページ)

リアウィンドウ(上方のコーナー部)へ取り付けてください。車幅の外側に、はみ出さないワイパーにあたらない

接着力を強めるために...

雨天時に野外で作業しない
ドライヤーなどで水分を取り除いてください。

ガラスの表面を暖める
外気温が 20 以下のときは、5 分ほどリアウィンドウデフォグラーや車内ヒーターをご使用ください。
貼り付けたあと、24 時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は差し支えありません。)

お願い

1BOX 車、2BOX 車の場合はバックドアの開閉でアンテナのエレメントが目にあたり、コードが断線しないようにご注意ください。

お知らせ

フッ素樹脂処理された(水滴や泥水等をはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

必要なときに

取り付けかた

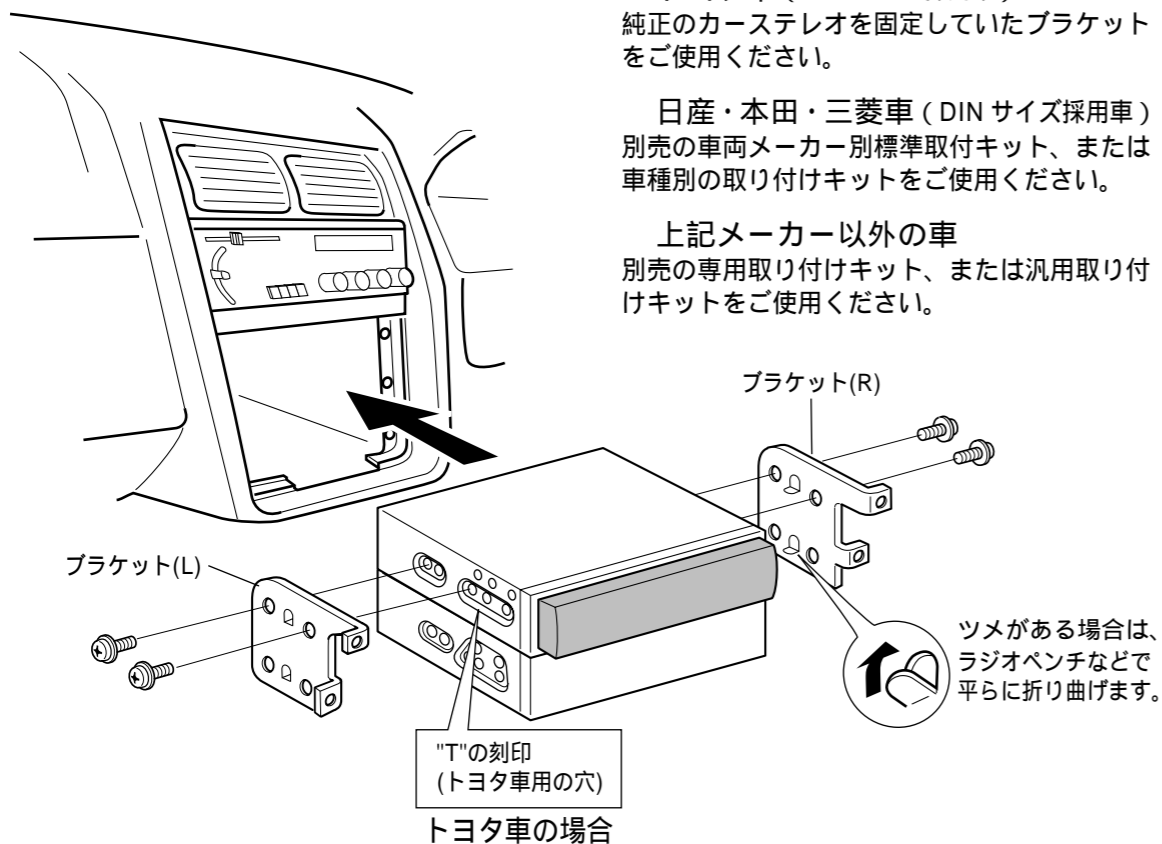
ディスプレイユニット

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

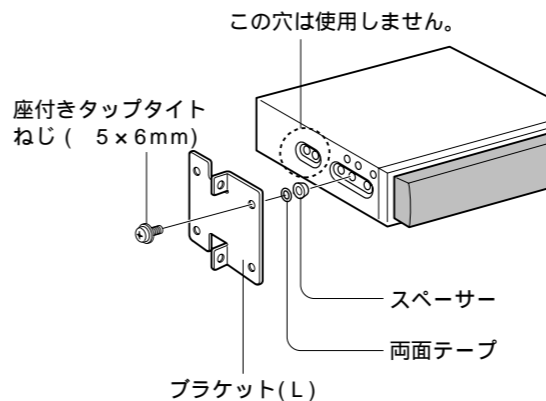
トヨタ車 (DIN サイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車 (DIN サイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

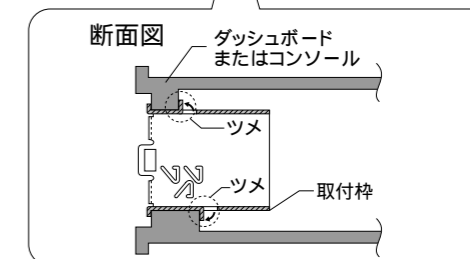
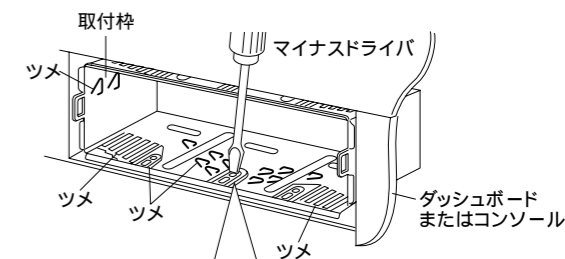


ブラケットが不安定な場合には
スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



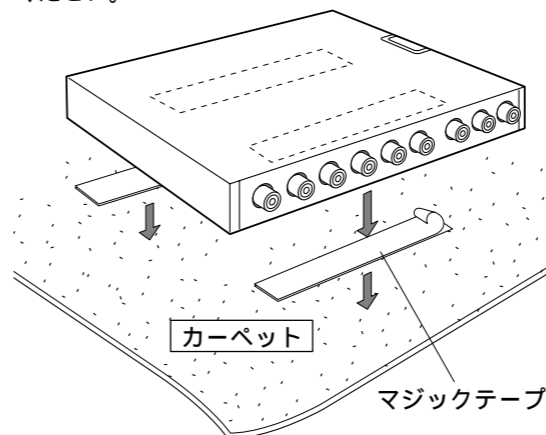
取付枠を使用する場合
(取付キット CA-F1600DUA 使用例)
取付枠のツメをマイナスドライバ等で6カ所以上折り曲げて、ガタつかないようにしっかり固定してください。

取付枠のバリ等で手にキズをつけないよう、必ず手袋等を使用してください。

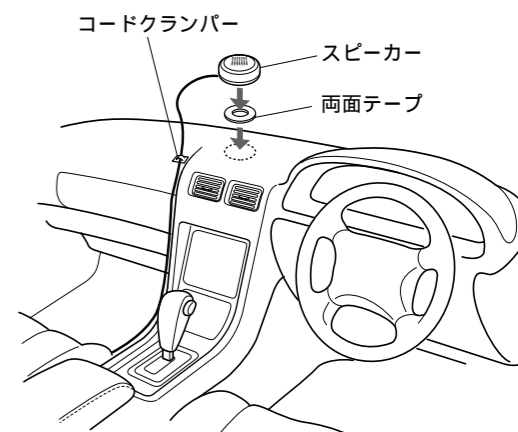


チューナーユニット

底面の溝を避けて、マジックテープを貼り付けてください。



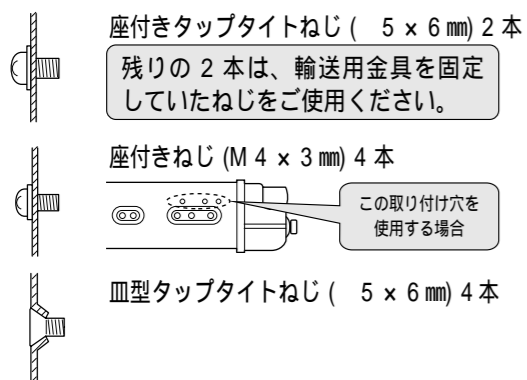
付属スピーカー



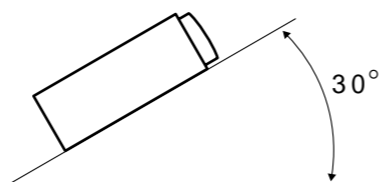
お願い
クレジットカードなどをスピーカーのそばに置かないでください。磁気により、カードが使えなくなることがあります。

接着力を強めるため、テープを貼り付ける部分の水分・ほこり・油などを拭き取ってください。

付属ねじは、ブラケットの穴の位置や形状に合わせて選んでください。



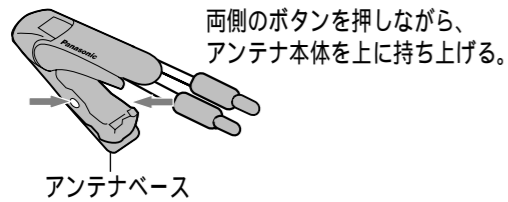
お願い
水平に対して、
30°以内の角度で取り付けてください。



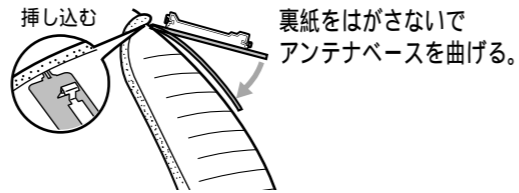
お知らせ
別売のコネクター付コード(車両メーカー別)をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。

テレビアンテナを取り付ける

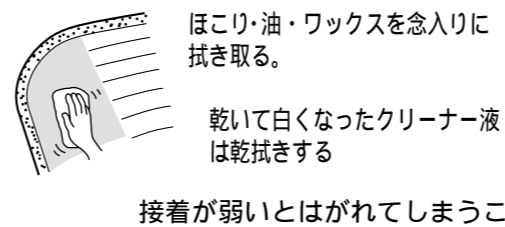
1 アンテナ本体からベースをはずす。



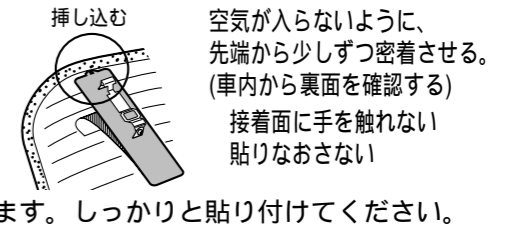
2 ガラス面に合うようにベースを整形する。



3 クリーナーキットで貼り付ける部分を拭き、



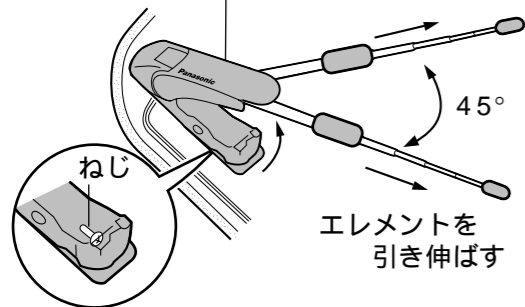
4 裏紙をはがしてベースを貼り付ける。



アンテナに同梱されている「アンテナベースを貼り付ける前に」も、併せてご覧ください。

調整のしかた

水平より少し上向きに持ち上げる

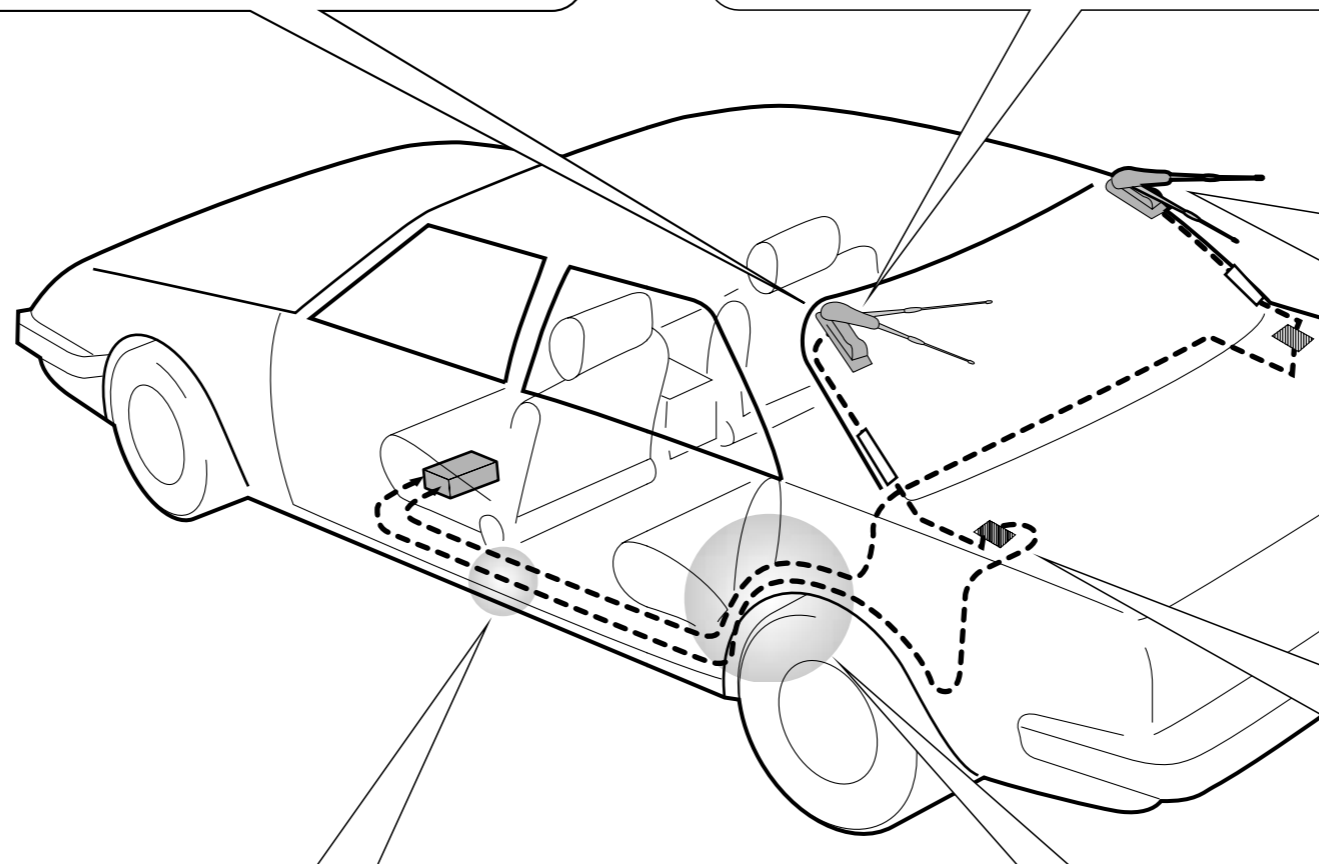


エレメントが車幅からはみ出す場合は...
ドライバーでねじをゆるめて、アンテナ本体の傾きを調整し、ねじを締めなおす。

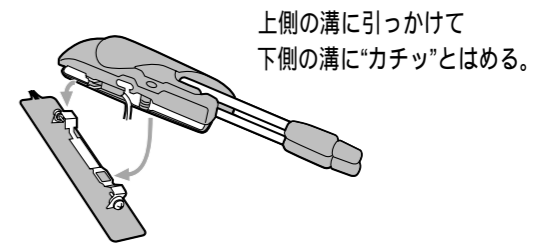
エレメントがスムーズに伸縮しないときは...
付属のクリーナー液、またはねり状ワックスで磨いてください。

お願い

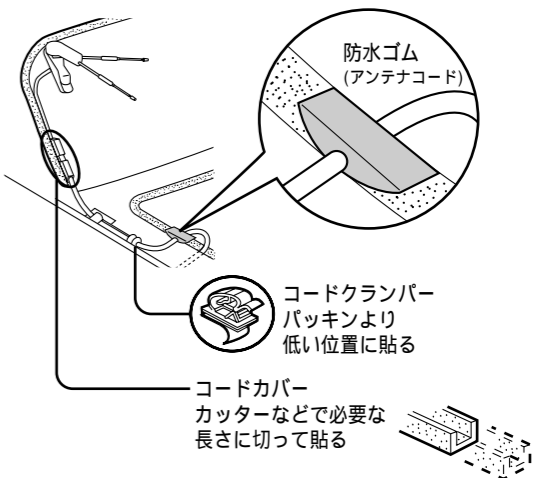
時々ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。
洗車や長時間駐車するときは...
アンテナ本体をはずし、トランクへ収納してください。



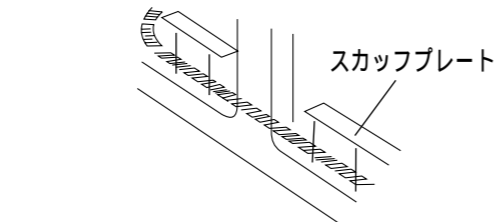
5 コードを外側に出してアンテナ本体を取り付ける。



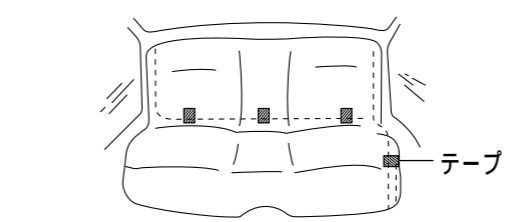
6 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。



8 車のスカッフプレートをはずしてカーペットの下を通す。



7 リアシートにテープで固定する。

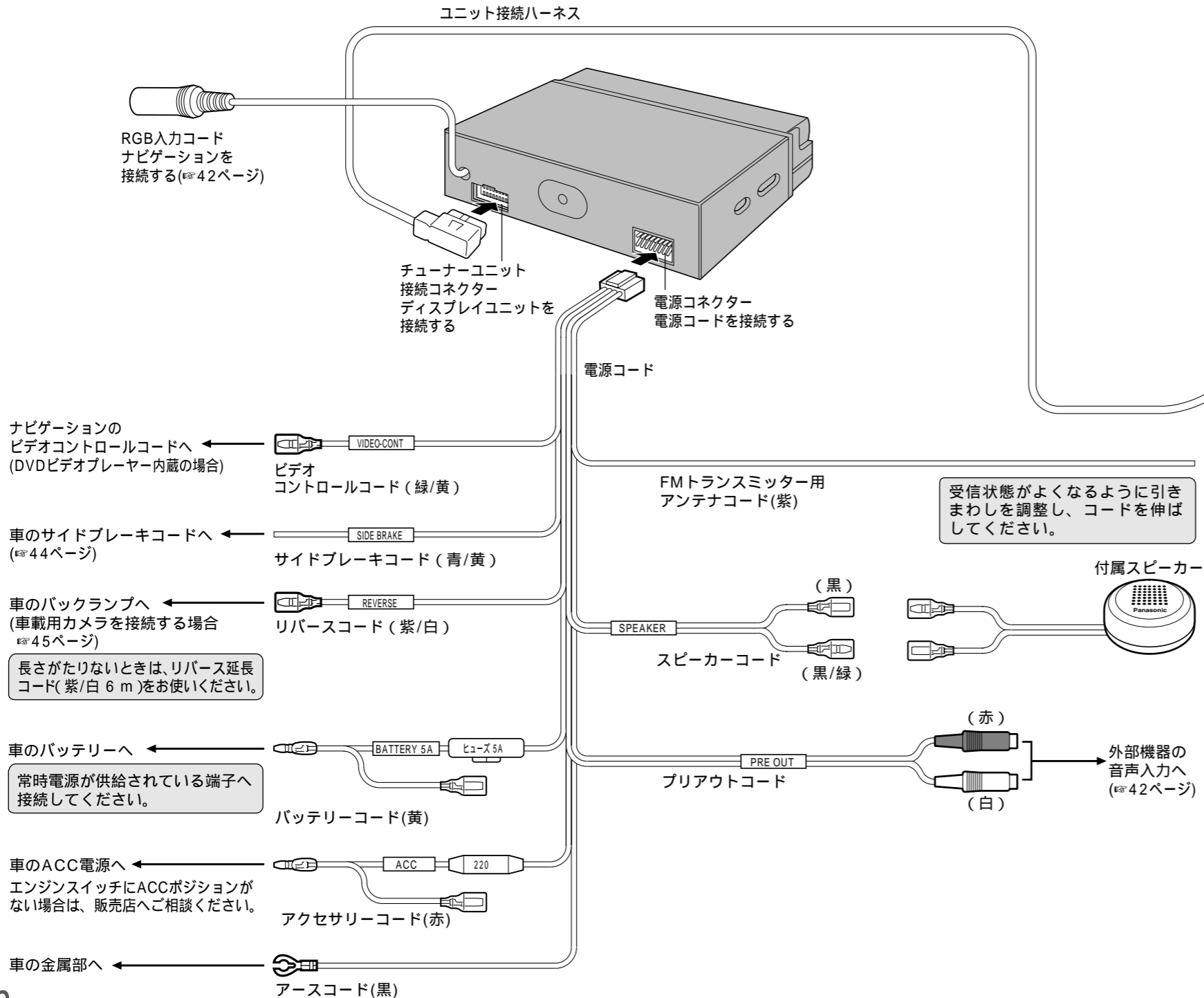


必要なときに

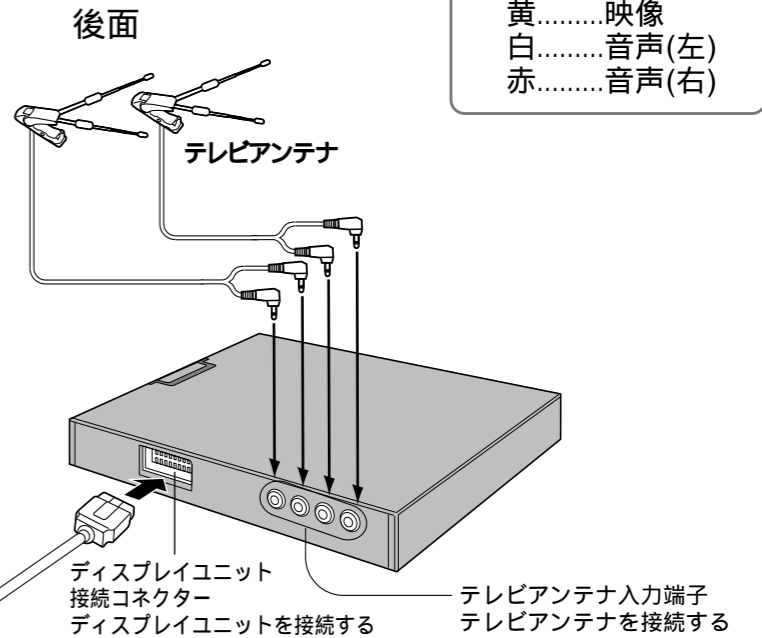
配線のしかた

基本配線 (付属コードの接続)

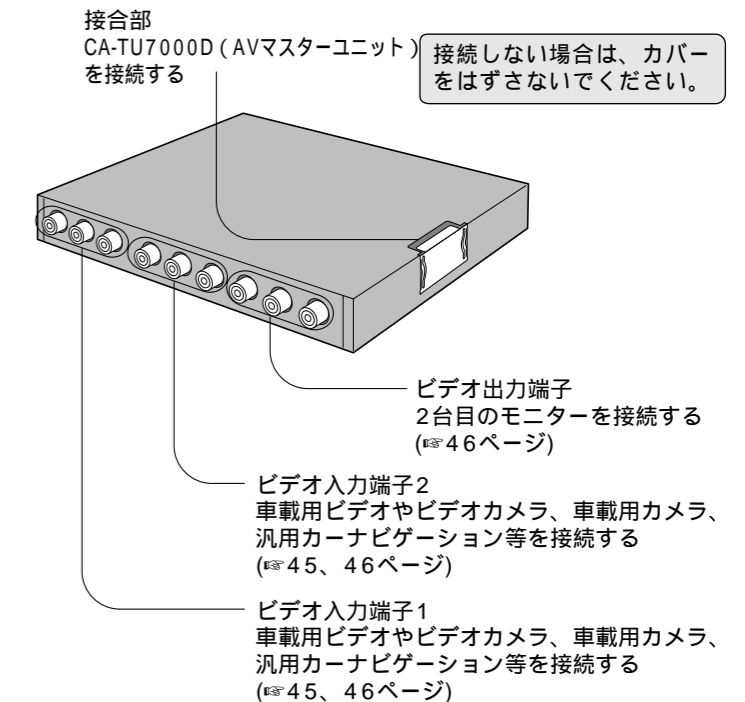
ディスプレイユニット



チューナーユニット



前面

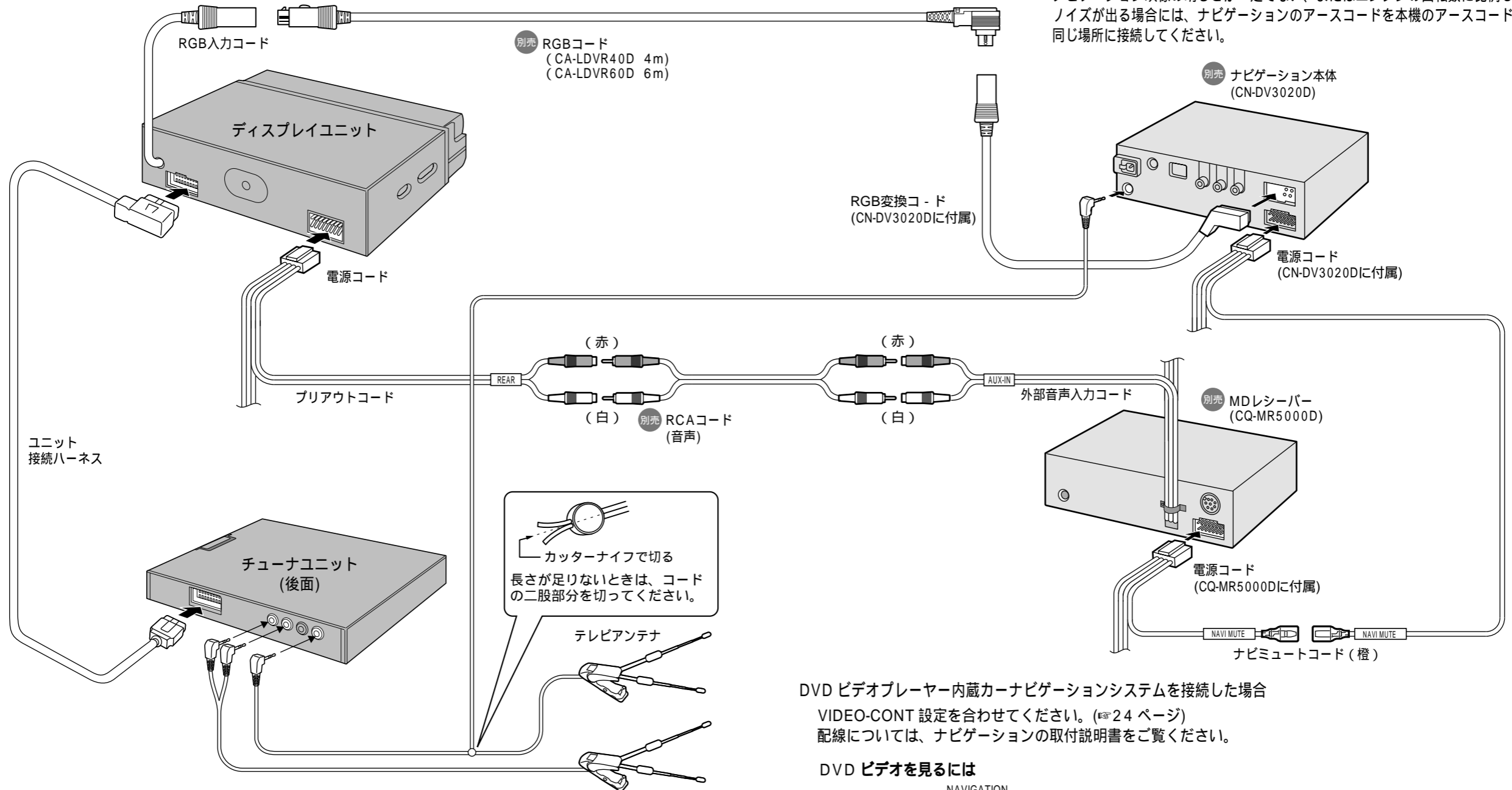


配線のしかた

ナビゲーション, MD レシーバーを接続する

接続した機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

DVD カーナビゲーションシステムを接続した場合には
ナビゲーション入力の設定 (※22 ページ) を合わせてください。



お願い

ナビゲーション本体の上にチューナーユニットを重ねて取り付けないでください。テレビアンテナのコードとナビゲーションの配線は、できるだけ離してください。ナビゲーション映像の明るさが一定でない、またはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合には、ナビゲーションのアースコードを本機のアースコードと同じ場所に接続してください。

DVD ビデオプレーヤー内蔵カーナビゲーションシステムを接続した場合
VIDEO-CONT 設定を合わせてください。(※24 ページ)
配線については、ナビゲーションの取付説明書をご覧ください。

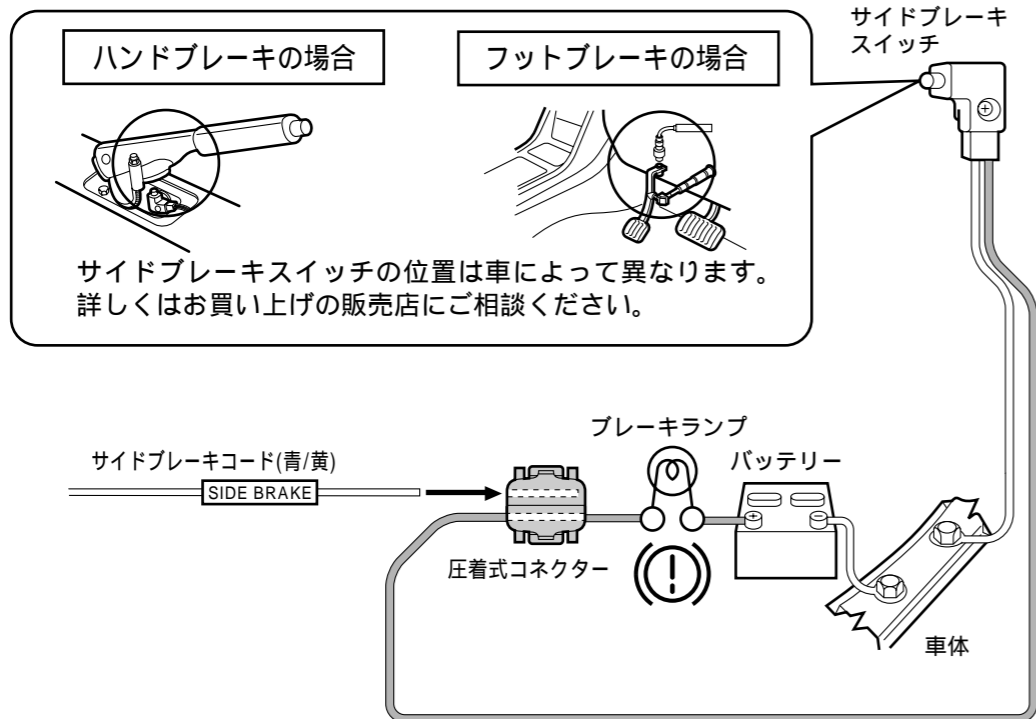
DVD ビデオを見るには

- ① 本機付属リモコンの **NAVIGATION** **NAVI** を押して、ナビゲーションを「ON」にする。
- ② ナビゲーション付属リモコンの NAV..TV スイッチを「NAV」側に、DVD ビデオを再生する。(ナビゲーション付属リモコンで操作します)

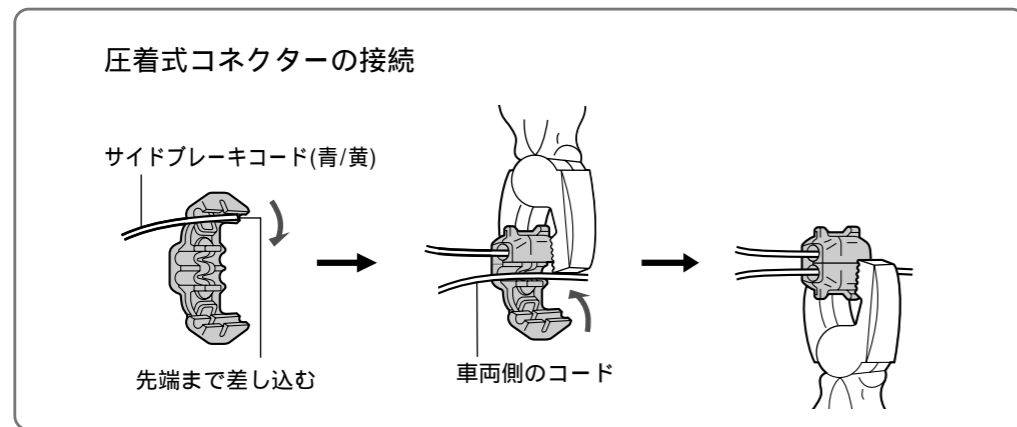
配線のしかた

サイドブレーキコードの配線

安全と事故防止のため必ず行ってください。



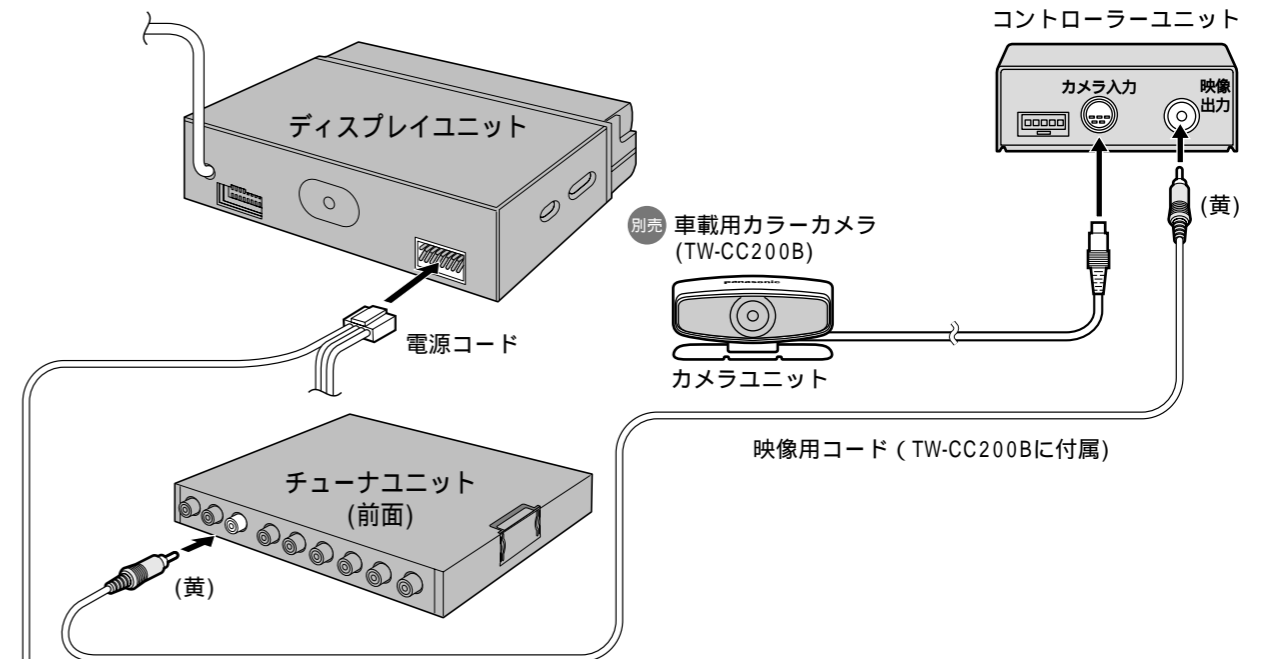
2本のコードのうち、サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。



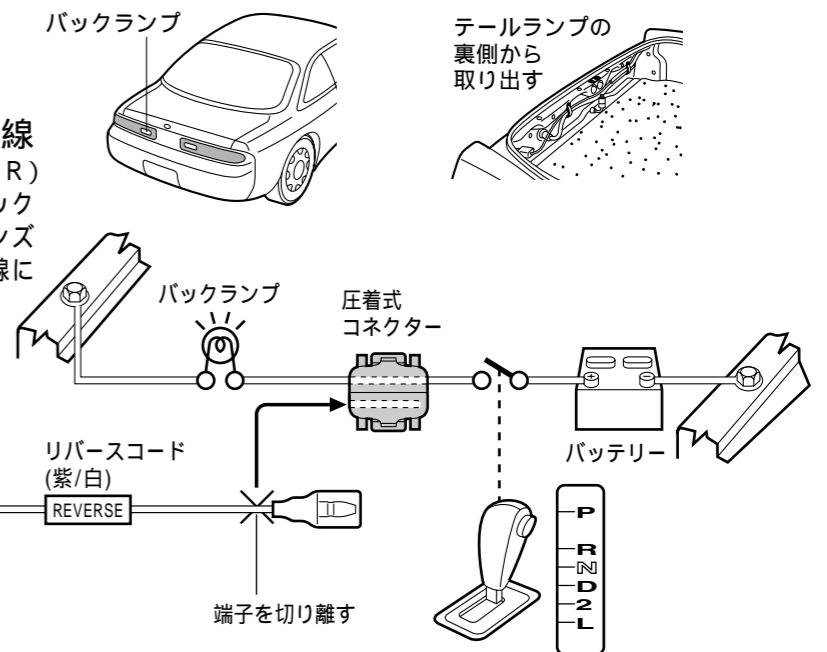
車載用カメラを接続する

接続した機器の取扱説明書も、併せてご覧ください。

車載用カメラを接続した場合には
カメラ入力の設定 (P.22 ページ) を合わせてください。



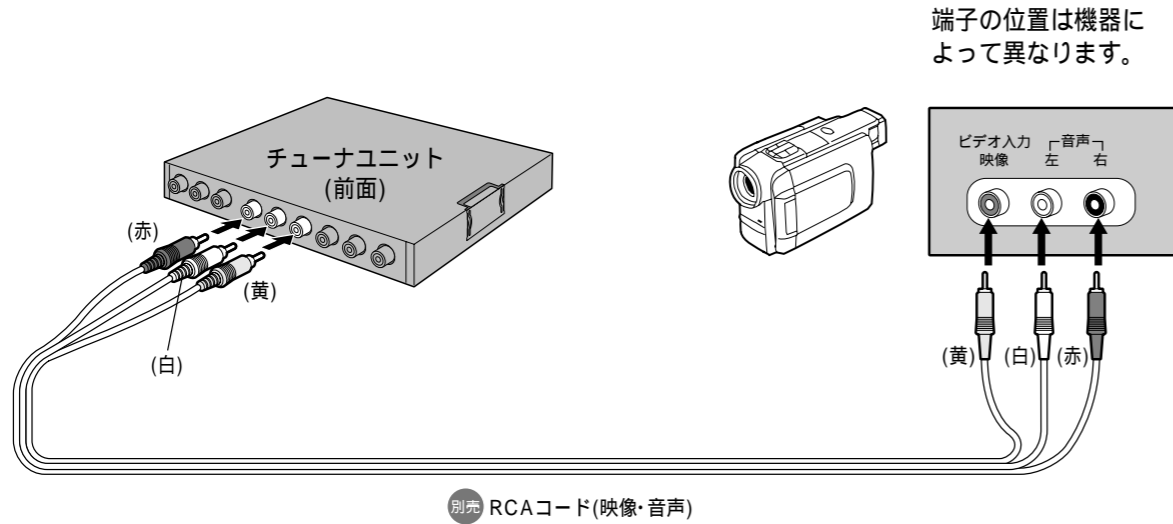
リバースコードの配線
車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に接続してください。



必要なときに

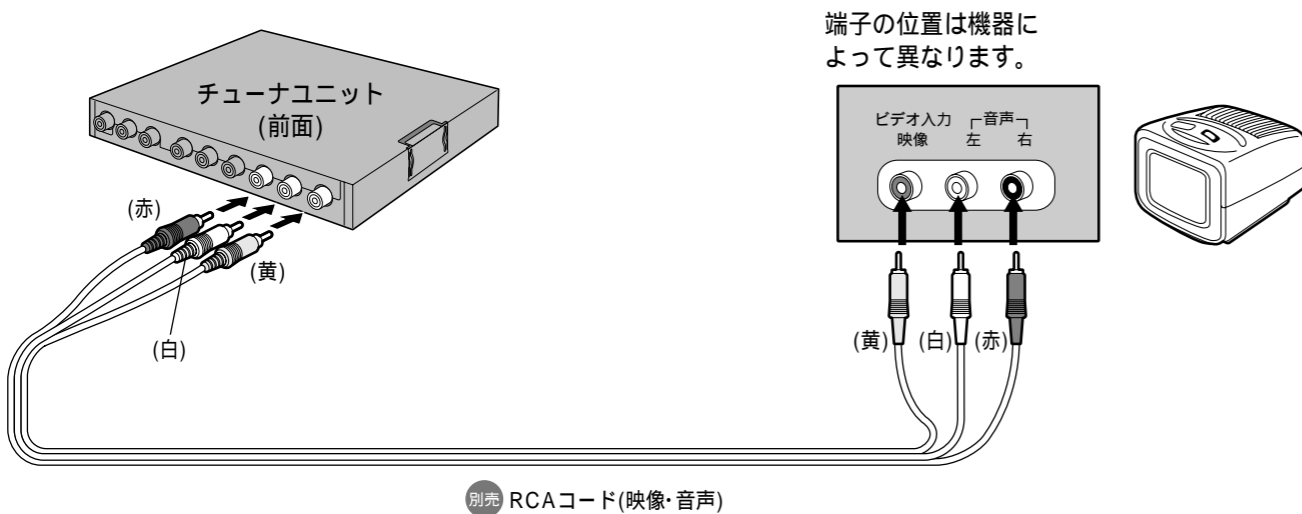
車載用ビデオやビデオカメラを接続する

接続した機器の取扱説明書も、併せてご覧ください。



2台目のモニターを接続する

接続した機器の取扱説明書も、併せてご覧ください。



共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖ アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 1.5 A 以下 (TV 動作定格出力時)
最大出力	: 0.7 W
適合スピーカーインピーダンス	: 8
映像入力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75 Ω)
映像出力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75 Ω)
プリアウト出力電圧	: 0.8 Vrms (TV)、1.8 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 600 Ω 以下
外形寸法 ディスプレイユニット	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 160 (mm)
チューナーユニット	: 幅 153 × 高さ 21 × 奥行き 150 (mm)
質量 ディスプレイユニット	: 2.3 kg
チューナーユニット	: 0.7 kg

モニター部

画面寸法	: 7型ワイド 幅 156 × 高さ 87、対角 178 (mm)
画素数	: 336 960 画素 (縦 234 × 横 480 × 3)
有効画素率	: 99.99 %以上
表示方式	: 透過型カラーフィルター方式
駆動方式	: TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
使用光源	: 内部光 (小型蛍光管内蔵)

CD プレーヤー部

チャンネル数	: 2 チャンネル
復号化	: 16 ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 80 dB (IHF、A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

テレビ部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch, UHF13 ~ 62 ch (TV ステレオ、音声多重)
実用感度	: 34 dB/μV

テレビアンテナ

出力インピーダンス	: 75 Ω × 4 (ミニプラグ付)
コードの長さ	: 6 m
外形寸法	: 幅 30 × 高さ 28 × 奥行き 190 (mm) (エレメント収納時)
質量	: 250 g (アンテナ本体片側、コードを含む)

付属スピーカー

インピーダンス	: 8
最大入力	: 2 W

NAVI は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。


補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

 **0120-50-8729** Go パナソニック

フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00～17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CY-TVC7000D
販売店名	☎ ()	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	-	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

YEFM283615 B1000-0